

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	03-01-02-03
事務事業名	吉永小学校体育館改築事業		
		根拠法令・要綱等	学校教育法施行規則
事業開始年度	平成19年度		
大項目	基本目標	地域文化と人が輝くまちづくり	問合せ先
中項目	基本施策	未来を支える人材を育むまちづくり	担当課(室)
小項目	施策	小・中学校	職・氏名
			管理係長 坪本弘毅
			電話
			0869-64-1802

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	学校児童及び地域スポーツ少年団・社会体育団体
目的(何のために)	老朽化した体育館を撤去し、学校規模・使用実態に合わせ、規模を拡大した体育館の新築を行い小学校教育の充実を図る。
行政活動(どのような方法で)	地域公民館を通じ、スポーツ少年団・社会教育団体等に積極的に活用するよう呼びかけを図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	児童にとって安心・安全な施設で学校生活を送ることができ、また、非常時の際の住民の緊急避難場所として安心して指定することができる。

事業の実績				
実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
施設整備面積	m ²	-	-	972
工事日数	日	-	-	252
活動実績				
直接事業費		-	-	232,335
人件費	千円	-	-	2,919
事業費計		0	0	235,254
国県支出金				77,926
受益者負担	千円			
市一般財源		0	0	63,128
必要人員	人			0.39
結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
1平方メートルあたりの建築コスト	説明	1平方メートルあたりの建築コスト		
結果指標量	m ²	-	-	972
対前年比	%	-	-	-
活動コスト	円	-	-	232,335,000
単位当たりコスト	円	-	-	239,028
結果指標				
結果指標量	人			
対前年比	%			
活動コスト	円			
単位当たりコスト	円			

事業の成果			
成果指標名	小学校の整備計画実行率	式又は説明	中期財政計画の実行率(計画事業の実施割合)を目的達成の指標にします。
成果指標量	17年度	18年度	19年度
対前年比	-	-	1校
到達目標値	1校	到達目標年度	19年度

事業の目的、対象、内容を考えてから目的・意図の意図する成果を見直す必要はない。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	B
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である		
対象	<input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
行政活動	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	体育館の改築は、教育環境がより一層充実される、妥当な事業である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
コスト	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	効率性評価<A~E>	B
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		
効率性の評価	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	課題認識	
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
手	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	児童数に見合った確かな面積である。	
	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
職	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善している		
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	有効性評価<A~E>	B
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上の見込みである	各催しの開催や、雨天時においても十分な体育授業が確保されている。	
	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量 1平方メートル当たりの建築コスト	結果指標量 -
成果指標量		1校

総合評価		評価区分<A~E>	B
老朽化した施設を解体し、改築整備をしたことにより安全・安心な快適な教育環境の充実が図られた。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果

